

下地調整を兼ねた仮防水

- ・通常配合で塗布乾燥後、混和液を塗布し含浸させると、極めて透水性の低い塗膜が形成されます。

下地の種類	施工の目的	調 合	塗布方法	塗布量目安(kg/m ²)	備 考
各種下地	下地調整プラス仮防水	下塗り 通常配合 上塗り 混和液のみ塗布	下塗り コテ 上塗り 刷毛・ローラー	下塗り 通常配合 0.6～0.8 上塗り 混和液約 0.1～0.15	下塗りは通常配合でコテしごきを原則とします。表面全体が乾燥したら、混和液を上塗りします。混和液が乾けば即仮防水効果が期待できます。硬質塗膜なのでひび割れの動きには追随しません。